

1. 公園評価シートの作成

基本方針を踏まえて、各公園の実情を評価するための評価シートは、公園基礎情報のほか、立地状況、および公園アンケート内容を記入できるようにするとともに、立地・維持管理・存続要望を定量的に評価できるよう点数設定できるように作成した。

評価シートの詳細は以下のとおりである。

(1) 公園情報

アンケートで整理した公園情報と、公園面積を記載した。また、都市計画公園は計画決定年月日も記載した。

■公園情報

公園名	御上公園（タコ公園）（都市/街区公園）	計画決定年月日	昭和47年6月20	面積	0.08 ha
所在地	野洲市三上字三上森839	公園番号	1	供用年月日	昭和46年3月31日
遊具及び施設	2連ブランコ、造形滑り台（タコ）、ジャングルジム、砂場、造形遊具（タコ）、フェンス、ベンチ（固定式）3、シェルター				
管理自治会	三上自治会	自治会活動交付金	18,000 円		

(2) 公園位置図（立地状況）

供用面積と誘致圏人口、誘致圏の重複度合を記載した。

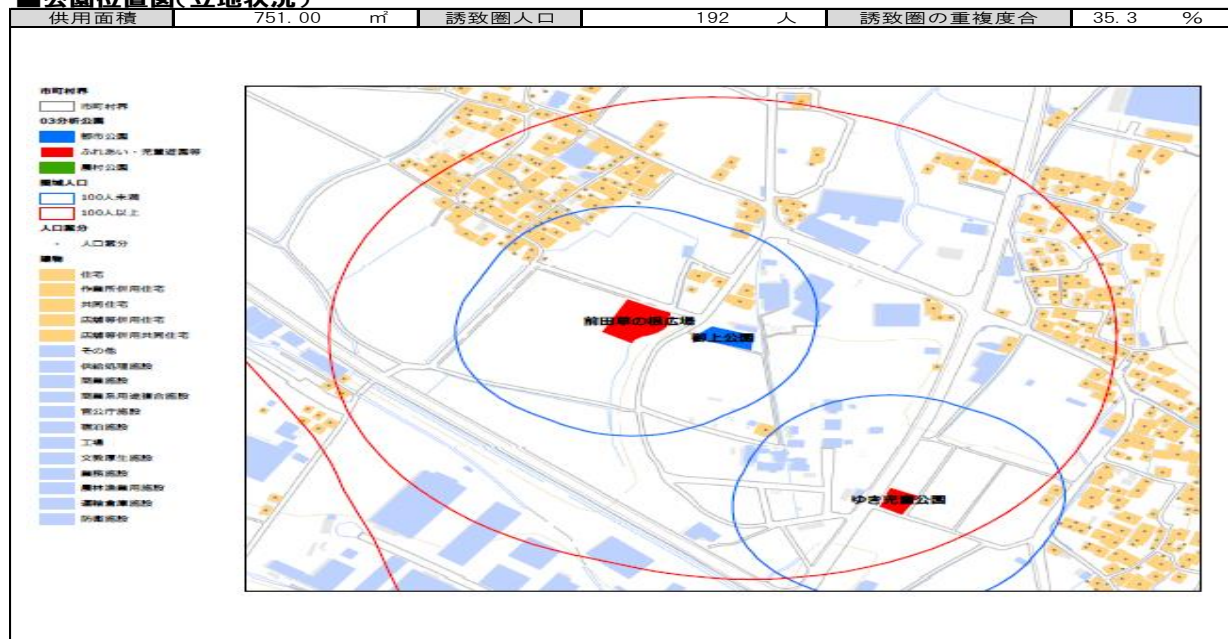
誘致圏は歩いて行ける範囲内を想定して、都市公園は250m、都市公園以外のその他公園は100mと設定した。

誘致圏人口は、上記範囲内の人口を、令和2年国勢調査データを基に、都市計画基礎調査の建物用途現況における家屋をポイントデータ化して按分して算出した。

誘致圏の重複度合については、誘致圏面積をそれぞれ算出し、対象となる公園を分母に他公園の誘致圏面積割合を、GISソフトを活用して算出した。

上記とあわせて、対象公園を中心に誘致圏を可視化できるようGISから地図データを描き出して、評価シートに添付した。

■公園位置図（立地状況）



(3) 公園維持管理・公園利用頻度

公園維持管理の現況を公園アンケートの問1から、公園利用頻度を公園アンケートの問2から記載した。

■公園維持管理

維持管理項目	作業等の場合、頻度（回数）
清掃用具費	数年前に物置を設置し、用具を更新

■公園利用頻度

頻度（回数）	用途	利用者・団体
年1回	魚つかみイベント	三上環境保存会
週1回以上	遊び場	小さな子ども

(4) 公園評価

前項までの入力結果を踏まえて、①公園の立地 ②維持管理の現状・要望 ③自治会の存続等の意向を定量評価できるようにするため、3つの項目毎の合計がそれぞれ10点満点となるよう、評価内容・評価ランク・評価点を設定した。

【立地の評価内容と評価ランク：4項目で合計10点となるよう配点】

●敷地面積

面積が大きい方が評価大とし、300㎡以上が2点、150㎡～300㎡未満が1点、150㎡未満を0点とした。

●誘致圏人口

誘致圏人口が多い方が評価大とし、300人以上が2点、100人～300人未満が1点、100人未満を0点とした。

●誘致圏の重複度合

重複が多いほど評価が低くとし、重複度面積50%以上は0点、50%未満が1点、重複度合なしを2点とした。

●利用状況

利用頻度は他の項目よりも重みづけを増すこととして利用頻度が高い方が評価大とし、頻度が週1回以上を4点、頻度が月1回程度を2点、全くなしを0点とした。

なお利用がない場合でも、一時避難場所の設定が有りの場合は、評価点2とした。

【維持管理の評価内容と評価ランク：4項目で合計10点となるよう配点】

●維持管理頻度

維持管理頻度が多い方が評価大とし、頻度が週1回以上を3点、頻度が月1回程度を2点、全くなしを0点とした。

●維持管理課題

課題が少ない方が評価大とし、課題なしを4点、課題はあるが解決可能を2点、課題が多く解決不可を0点とした。

●遊具等維持管理状況

管理状況が高い方が評価大とし、日常点検実施しているが1点、遊具なし・点検なしを0点とした。

●樹木維持管理状況

樹木維持管理状況が高い方が評価大とし、自治会等で実施を2点、その他回答は1点、管理なしを0点とした。

【存続調査（今後の在り方）の評価内容と評価ランク：合計10点となるよう配点】

公園として継続意思が高い方が評価大とし、現状維持要望を10点、その他機能として利用を5点、廃止要望を0点とした

■公園評価(立地・維持管理・存続)

【結果:各項目毎の合計 10点満点】

分類	評価項目	評価内容	評価ランク	評価点	評価値
立地	敷地面積	大きい方が評価大 (利用の多様化)	0~150㎡未満	0	2
			150~300㎡	1	
			300㎡以上	2	
	誘致圏人口	人口が多い方が評価大 (都市公園：半径250m圏内) (ふれあい・児童公園等：半径100m圏内)	~100人	0	1
			100~300人	1	
			300人以上	2	
	誘致圏の重複度合	重複が多いほど評価は低い	重複度面積(50%以上)	0	1
重複度面積(50%未満)			1		
なし			2		
利用状況	利用頻度が高い方が評価大 (利用が全くなしで、一時避難場所の設定が有り場合は評価点2とする)	全くなし	0	4	
		頻度が月1回程度	2		
		頻度が週1回以上	4		
維持管理	維持管理頻度	維持管理頻度が多い方が評価大	全くなし	0	2
			頻度が月1回程度	2	
			頻度が週1回以上	3	
	維持管理課題	課題が少ない方が評価大	課題が多く解決不可	0	4
			課題はあるが解決可能	2	
			課題なし	4	
	遊具等維持管理状況	管理状況が高い方が評価大	遊具なし・点検なし	0	1
日常点検実施している			1		
樹木維持管理状況	樹木維持管理状況が高い方が評価大	管理なし	0	1	
		その他回答	1		
		自治会等で実施	2		
存続	存続調査 (今後の在り方)	公園として継続意思が高い方が評価大	廃止	0	10
			その他機能として利用	5	
			現状維持	10	

	評価項目	点数	評価コメント
評価点	立地	8点	(児童遊園64) 前田草の根広場が隣接するも、評価は高い。
	維持管理	8点	課題はない。
	存続	10点	自治会から現状維持の要望あり
合計		26点	

(5) 公園の現況と自治会の要望

公園の利用状況・用途等を公園アンケートの問3から、公園の維持管理状況をアンケートの問4～12から記載した。

また自治会の意向等について、公園アンケートの問13～14を記載した。

■公園現況と自治会の要望

現状把握	利用状況・用途等	定期利用団体	1団体	児童登校集合場所		
		一時避難場所指定	無	防災訓練の実施	無	
	維持管理の課題					
	遊具等の維持管理	自治会	具体管理内容	清掃時の他、100人会による剪定時にチェック		
	遊具新設・撤去要望	新設遊具	なし			
		撤去遊具	なし			
	附属物設置状況	移設可能				
		移設不可				
		公園隣接地	物置			
	樹木維持管理状況	生垣の剪定のみ			樹木数(中高木3m以上)	0本
トイレの設置状況	トイレなし					
要望	自治会の意向	公園として現状維持				
	機能転換理由					

(6) 再編に向けた評価

上記までの内容を踏まえて、再編に向けた評価を行い、再編の分類とその理由を記載した。
なお再編に向けた評価の分類方法については、公園再編計画判定フローにて詳述する。

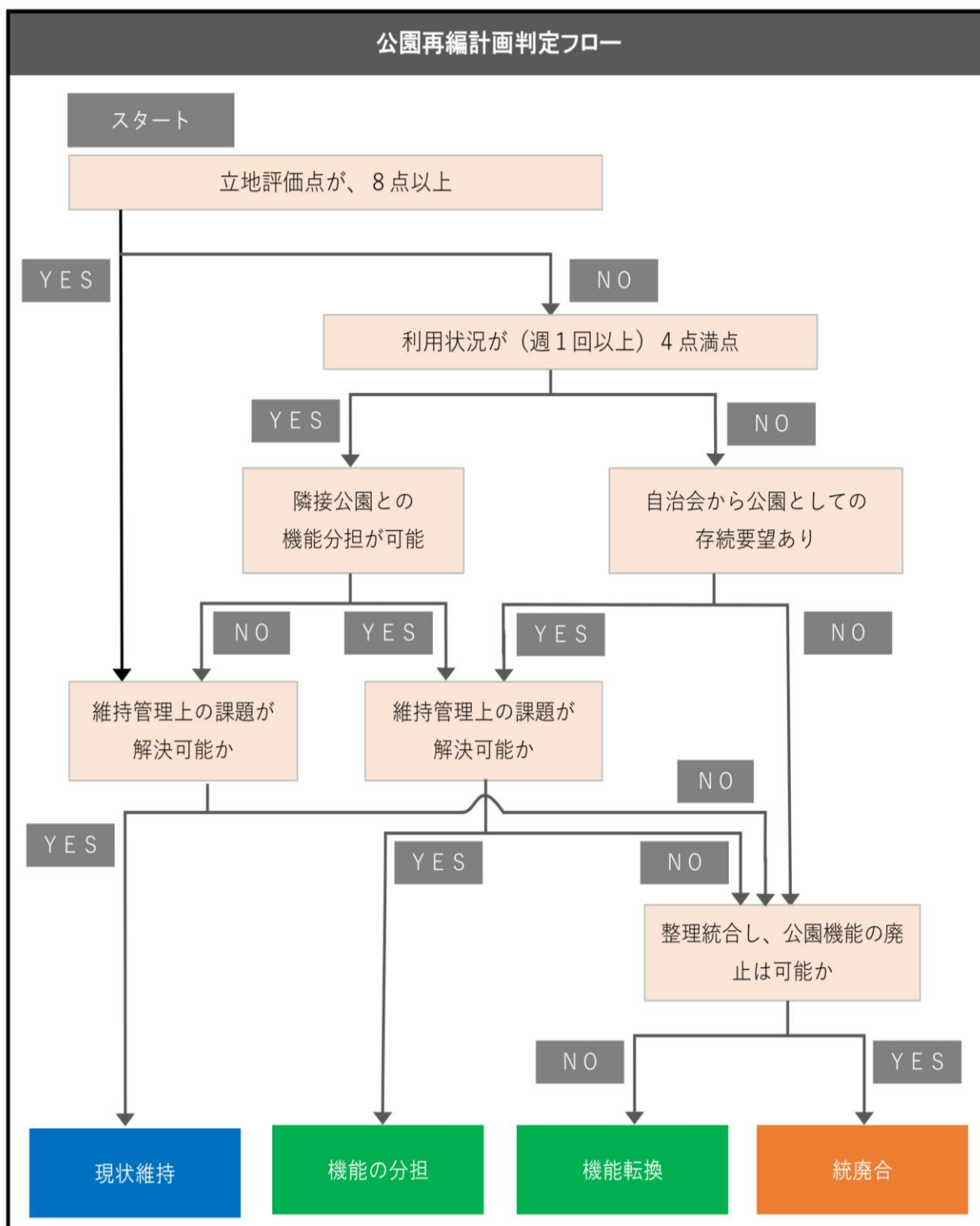
■再編に向けた評価

分類	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 機能転換 <input type="checkbox"/> 機能分担
理由	立地評価点が高く利用頻度もあるため、現状維持とする

各公園の「野洲市内公園調査評価シート」を踏まえて、再編に向けた評価を、基本方針で設定した「現状維持」、「統廃合」、「機能の転換」、「機能の分担」の4区分に分類した。

4区分への分類は、立地評価点が高い場合は基本的に「現状維持」、利用状況が週1回以上あっても隣接公園がある場合は「機能の分担」を検討、自治会要望や維持管理の課題がある場合は「統廃合」、「機能の転換」を検討と分類できるように、以下のフローと条件に基づき行う。

野洲市公園再編計画判定フロー



評価の分類と条件

分類	条件
現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 立地評価点が8点以上（※1）で、かつ維持管理上の課題が解決できる場合は、現状維持とする 立地評価点が8点以下でも、利用状況が週1回以上ある公園で、機能の分担ができる隣接公園がない場合は現状維持とする
統廃合	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況が殆どなく、かつ存続評価点（地域の存続要望）がない場合 地域から存続要望がある場合でも、維持管理上の問題が解決できない場合（※2）は、機能転換か統廃合とする
機能転換	
機能分担	<ul style="list-style-type: none"> 立地評価点が8点以下でも利用状況が週1回以上ある公園で、機能の分担ができる隣接公園がある場合は機能分担とする 利用状況が月1回程度の公園でも、存続評価点（地域要望）が10点の場合、維持管理上の問題が解決可能（※2）であれば機能分担とする

※1 立地評価点8点となる公園は、週1回以上の利用がある公園（4点満点）、かつ敷地面積・誘致圏人口・誘致圏の重複度合（各2点満点）で4点以上が必要となる公園であるため、立地条件面から現状維持が必要と判断することとした

※2 維持管理上の課題とは、地域で維持管理を継続的に行うための人材や予算等の確保が可能であるか否かを判断することとした

上記までの内容を踏まえて、再編に向けた評価を行い、再編の分類とその理由を評価シートに記載した。

また各公園の概要と評価分類（その理由）を一覧として整理して示した。